


令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立星ヶ丘小学校】

1 実践テーマ	Ⅲ
2 実施対象者	星ヶ丘小学校 4学年 (74名) 全学年 (473名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間 ・ 国語科) 4年生 ② 教科名 (体育科) 全学年
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な出会いと体験を軸にして、障害のある方や高齢者の生活の工夫を知り、やさしさのあるまちづくり（共生する社会）について考える。 ・ 誰もが気持ちよく幸せに生きるために必要なことについて、自分の考えをもち、将来の自分の夢を描くことで、自己と他者を肯定しながら、未来に向けて、前向きに生きていこうとする心情を養う。 ・ 総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」において、国語科や道徳科との横断的・総合的な関連を図りながら、問題解決的な学習を繰り返すことで、探求的な学習過程の質的向上を図る。
5 取組内容	<p>○ 国語科「だれもが関わりあえるために」との関連授業 CD教材「一緒に歩こう！」の視聴、ブラインドランチの活動を通して、気付いたことや、知りたいことについて、一人一人が調べ学習を行い発表した。</p> <p>○ 総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」で、実際に障害のある方と出会い、共生社会について考える。</p> <p>出会い(1) 「生き方のデザイン研究所」の方と出会い、障害のある方の生活の工夫や生き方について知る。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盲導犬ユーザーの方の話 ・ 身体が不自由な方の話 <p>障害のある方への接しかたや、自分たちができることについて考えることができた。</p> </div> </div> <p>○ 「やさしさのあるまちづくり」の発表会</p>



ブラインドランチの様子

学習してきたことをもとに、それぞれが課題を決め、グループに分かれ調べ学習を行い、劇、紙芝居、壁新聞などで発表する。

課題別グループ

- ① 視覚障害者の生活（点字、点字ブロック、駅にある工夫、盲導犬）
- ② 聴覚障害者の生活（手話、指文字）
- ③ 手や足に障害がある人の生活（バリアフリー、ボランティア）
- ④ 障害がある人のための道具
- ⑤ いろいろな障害（心の障害、嗅覚障害、動物の障害）
- ⑥ パラリンピック（新しい競技、5人制サッカー）

発表会に生き方のデザイン研究所の方に来ていただき、子どもたちの発表会にコメントをいただいた。また、最後に「みんなで幸せになろう。」というメッセージを込めて、一緒に「パプリカ」を歌い、心のつながりを深めることもできた。

○ 夢をもって生きることの素晴らしさを知る。

出会い（2）岸川正さんの講演を聞く。

- ・楽しく生きる。（1日を悔いのないように生きる。）
- ・前を向いて生きる。（考え方、行動が世界を変える）
- ・感謝の心をもつ。（家族や友だちを大切にする。）
- ・どんな時もあきらめない。

バイク事故にあって、医者に一歩歩けないことを告げられても、落ち込まず、明るく前を向いて生きて、やさしく穏やかに語る岸川さんに子どもたちはとても惹き付けられ、真剣に聞き入っていた。



○ オリンピック・パラリンピックについての学習

- (1) 「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」及びDVDをもとに、オリンピック・パラリンピックの理念や価値について触れ、掲示物や図書資料などで、興味・関心をもった。



道徳科「車いすの青春」で、元アイススレッジスピードレース金メダリスト松江美季選手をとりあげた。目標に向かい粘り強くやり遂げるかっこよさに多くの児童が共感していた。

- (2) パラリンピックの競技、シッティングバレーボールの体験を行った。リオパラリンピックの試合の映像を見て、ルールを調べ、自分たちにできるルールを考え、実践した。



シッティングバレーボールの体験

	<ul style="list-style-type: none"> ・おしりだけの移動で、大変だが、ルールを工夫すると、みんなで楽しむことが出来た。 ・チームのみんなと協力することが大切だと感じていた。 ・他の競技（ボッチャやゴールボール）などにも興味をもち、ルールや日本選手について調べたいと意欲をもった。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の夢を描く。 これからの生き方について考え、自分の夢について考えをまとめ、2分の1成人式で発表する。 ○ 土曜日授業 持久走大会 目標を持って、最後まであきらめずに走ることや、走ることの楽しさを体感する。
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験的な学習を積むことで、オリンピックやパラリンピックがより身近なものとして考えられるようになった。 ○ 夢を描いて発表することで、夢をもつことの大切さやあきらめずに挑戦すること、周りの人への感謝の気持ちなどについて見つめ直す良い機会となった。 ○ シットイングバレーボールの実演により、ゲームの楽しさや難しさ、みんなで協力する大切さを味わうことができた。またルールや道具を工夫することで、誰もが楽しめることを実感することができた。 ○ 障害をもった方たちとの出会いで、周りの方の支えで、生き生きと生活できることに気づき、自分たちにできることを実践しようとする意欲をもつことができた。 ○ 体験や講話を通して人間の強さ、生きがい、自己と他者を肯定して前向きに生きていこうとする気持ちをもつことができた。 <p>【児童の感想から】 生き方のデザイン研究所の方や岸川さんの話から</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目が見えなくても、いろいろな工夫がたくさんあって、しょうがいをもっていても私たちのようにふつうにみんなとくらせるということが分かった。 ・ 大変そうだけど、みんなが助けてくれるから、楽しく生きられるんだと思った。 ・ 岸川さんを見習って、くやしい、苦しいことがあっても、みんなにおだやかに話し、やさしくできるようになりたい。 ・ 苦しい、くやしい、悲しいことがあっても、岸川さんのように気持ちを切り替えて、前を向いて、明るく生きていきたい。 </div> <p>シットイングバレーボールを体験した感想</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見たときは簡単そうだったけど、やってみると、とてもむずかしかった。選手の人たちはすごいです。 ・ チームワークと手を使って素早く動くことが大切。相手を思ってしっかりパスするとつながると思った。 ・ みんなでパスをつなぐと、楽しめるのでよいと思いました。協力してやるとつながると思います。 ・ むずかしかったけど、楽しかったので、東京パラリンピックで、シットイングバレーボールを応援したいです。 </div>

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間だけでなく、国語科、道徳科、体育科などと横断的、統合的に関連付け、繰り返し、問題解決的な学習が展開されるように工夫した。 ○ オリンピック・パラリンピックに興味をもたせるため、映像や図書資料を準備したり、掲示したりするなど環境作りに配慮した。 ○ 疑似体験（ブラインドランチ）、競技の実演など体験学習を多く取り入れ、実感を伴った学習になるようにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初、教育課程に位置付けているものといないものがあり、実践を進めていく上で、途中で見直す必要があった。 ○ オリンピック・パラリンピックの出場経験者や、東京オリンピック・パラリンピックの出場内定者を招聘した取り組みができれば、より実感を伴った体験ができるのではと考える。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、出場経験者や出場内定者と実際に触れ合う機会を全校に広げて、充実した取り組みを考えたい。 ○ 2020東京オリンピック・パラリンピックの応援を全校で取り組んでいきたい。